

# お元気ですか

# 南 恵子

# です

ニュースを読んでご意見をお寄せ下さい。

区議会議員

**南 恵子**

TEL 3790-1523



発行責任者 **日本共産党品川区議会議員 南 恵子** 八潮5-12-65-503

メールアドレス [minami@jcp-shinagawa.com](mailto:minami@jcp-shinagawa.com)

## 決算委員会総括質問

## 全会派が取り上げる

# 保育園待機児の解消は急務

品川区の待機児は123人で年々増え続けています。それを反映してなのか決算委員会総括質問で全会派が取り上げました。区は新たな対策も答弁しました。

年々増え続ける待機児

精査しても123人もいる

保育園は、毎年4月に新しい園児が入園してきます。そのときに入園できない子どもを待機児といいます。今年4月は123人(申請して入れなかったのは433人)にもなりました。実に、保育園2園分以上の数です。

保育園に子どもを預けて安心して働きたいという子育て世代の切実な気持ちを思うと、何とかしなくてはと思います。保育園に入れなかったある方の場合、狭い工場の動いている機械の間に子どもを寝かせて働いていました。大きな機械の音、お日様もあたららず、換気も良くないスペースで・・・待機児解消は待ったなしです。

現在の待機児解消策は

- ① 定員以上に入れる弾力化、
- ② 認証保育料補助

## 新たな解消策とは

決算委員会で明らかにした新たな待機児解消策とは、① 幼保一体施設(幼稚園と保育園を一緒にした施設)を4年間で3ヶ所つくる、② 既存園の定員を増やす、③ 認証保育園の活用と答弁しましたが、区長がさらに付け加えました。

それは、幼保小連携で学校空施設に保育園5才児をいれて、保育園の空いたスペースに入園させる―という内容でした。幼保小連携とは、幼稚園・保育園・小学校が連携し、就学をスムーズにさせることを目的にしています。果たして、子どもの育ちにとって必要でしょうか。



